

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	町道の維持管理				担当課名	建設水道課		
(予算書コード)	08-01-01-05-01、08-02-01-05-01、08-02-02-10-01、08-02-03-10-01・12-01、08-02-04-10-01、08-02-05-10-01・12-01				担当係名	建設管理係		
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助			
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)							
根拠法令等の名称	道路法							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	道路は地域社会を支える基盤として重要な役割を担っており、住民の安心・安全な暮らしのために、計画的に道路、橋りょう維持補修工事を行う。冬期間は安全でスムーズな交通を確保するため、幹線道路の凍結防止剤の散布、除雪を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	道路維持補修工事実施路線数	同左	路線数	目 標	7	8	11
				実 績	7	6	/
				達成率	100.0%	75.0%	/

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算		
事業費	事業費 A	303,582 千円		400,430 千円		305,798 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	0.50 人	1,109 千円	0.50 人	1,120 千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	3.00 人	19,250 千円	3.00 人	19,849 千円	5.00 人	32,915 千円	
事業費合計 C (A+B)		322,832 千円		420,279 千円		338,713 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	32,572 千円		127,178 千円		25,300 千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	172,400 千円		215,200 千円		238,400 千円	
		その他	25,103 千円		34,124 千円		28,645 千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源 (町の負担)		92,757 千円		43,777 千円		46,368 千円		
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない
公平性	A	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 適切である
効率性	B	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 検討の余地がある
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である

総合評価	拡 充	道路維持補修工事は概ね計画通り実施した。区からの要望箇所については、局所的に補修工事を実施したが、要望が多く対応できないところもあった。橋りょう関係では、橋りょう長寿命化修繕計画を基に、補修・点検を計画的に実施し、橋りょうの健全性を確保した。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	拡 充	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	交通安全対策				担当課名	建設水道課
(予算書コード)	08-01-02-05-01・10-01				担当係名	建設管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助	
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)	
根拠法令等の名称	道路法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	歩行者等が交通事故に遭わない、事故のない安全で快適な交通社会の実現のため、交通安全施設の整備及び啓発活動を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	町内の交通事故件数	同左	件	目 標	70	60	60
				実 績	52	44	/
達成率	134.6%	136.4%	/				

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	8,274 千円		7,457 千円		7,466 千円	
	うち会計年度任用職員人件費	0.50 人	1,109 千円	0.50 人	1,120 千円	人	千円
	正規職員人件費 B	1.00 人	6,417 千円	1.00 人	6,616 千円	1.00 人	6,583 千円
事業費合計 C (A+B)		14,691 千円		14,073 千円		14,049 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円
		うち使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		14,691 千円		14,073 千円		14,049 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	区要望、通学路の合同点検、巡回パトロール等により、危険箇所を把握し、必要な箇所に対し整備を行っている。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	区や学校関係者の要望を踏まえ、通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	通学路を中心に、危険性の高い箇所から整備を行っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上 である	町内の交通事故件数は目標値以上であり減少傾向にある。関係機関、団体と連携し、街頭啓発活動の実施、また、危険性の高い箇所へ交通安全施設整備を行い成果が表れている。

総合評価	現状維持	通学路を中心に、危険性の箇所への交通安全施設整備を行った。また、関係機関、団体等と連携し街頭啓発活動を実施し、交通安全事故防止の推進を図った。
	現状維持	
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	水防事業			担当課名	建設水道課
(予算書コード)	08-03-02-10-01			担当係名	建設管理係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営		
事業の開始・終了	年	月	～	年	月
根拠法令等の名称	水防法				

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	水防協議会を運営し、水防法及び長野県水防計画に沿って下諏訪町水防計画の見直しを行う。消防団、地区自主防災会等関係機関と連携し、現況にあった必要な資機材を整備する。コロナ禍で令和2年度・3年度と水防訓練の実施が中止となり、実績なし。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	水防訓練の実施	水防訓練参加人数	人	目 標	230	220	220
				実 績	0	0	/
				達成率	0.0%	0.0%	/

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	29 千円		37 千円		61 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.05 人	321 千円	0.05 人	331 千円	0.10 人	658 千円
事業費合計 C (A+B)		350 千円		368 千円		719 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		350 千円	368 千円	719 千円			
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	水防法で定められた水防管理団体である。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	水防計画に基づき、水害が予想される危険個所の事前調査や出水時の警戒や防御を行い、全町の被害軽減を図っている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	水防協議会を開催し適切に水防計画の見直しを行っている。近年の災害状況を見ながら水防訓練を企画、開催していきたい。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下 である	コロナ禍にあつて水防訓練は中止せざるを得ないが、有事の際に迅速に行動できる体制を整えたい。

総合評価	現状維持	近年各地でみられる局地的な豪雨に対処するため、日ごろから水害や土砂災害に対する意識を持ち、水防資機材の整備や情報収集並びに初動体制の強化を図る。 コロナ禍で目標達成は困難であるが、関係機関の連携強化を図りたい。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	令和3年度より建設水道課に主管を移し、関係機関の連携強化を図った。